



左から、アーティストの向山喜章と、MGMリゾート・インターナショナル会長のジム・ムーレン。

MGMリゾート

ラスベガスが注目する、日本の現代アート

ラスベガスの滞在型リゾート、MGMリゾートがいま日本美術に大きな関心を寄せている。MGM会長自らが仕掛けた、日本美術のプロジェクトを紹介する。

鈴木香織・写真 Photographs by Kaori Suzuki 稲石千奈美・コーディネート & 文 coordination & text by Chinami Inishi

一般的にはリゾートやカジノを楽しむ場所とされるラスベガスだが、実は数々のアートにも出合える場であることをご存じだろうか。

ラスベガスを拠点に滞在型リゾート・ドスティネーションを手がけるMGMリゾートは、著名作家による委託作品を筆頭に、約800点を超える現代アートコレクションを所有している。マヤ・リン、ジェームズ・タレル、ロバート・ラウシェンバークなどの作品をホテルロビーや廊下、レストランなど公共の場に惜しげもなく展示しているのだ。近年は日本美術に力を入れており、ベラッジオホテル内にあるギャラリーでは日本を代表する芸術家、草間彌生の展覧会も開催中である。

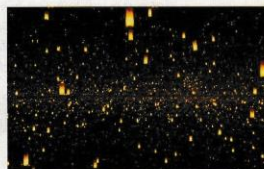
制作現場を公開するという、MGM初の取り組み。

「芸術を支援することは企業としての重要な使命だと考えています」と語るのは、MGMリゾート会長ジム・ムーレンだ。現代美術への造詣が深く、大学時代から日本美術に魅せられてきたムーレンは、今回、画期的なプロジェクトを立ち上げた。

ムーレンは昨年6月にアーティストの向山喜章をラスベガスへ招聘。新設のスタジオで委託作品の制作過程を一



1 美しい動作で刷毛を動かし色を塗り重ねる。手前は色や光を探索する試作で、奥に見える正方形のキャンバスが24点からなる主作品「ヴェンダータ100: シックスエレメント・アンド・ザ・シーズンズ」の一部。2 試作も見学できるのが、このプロジェクトの醍醐味。3 MGMリゾートのベラージオホテル1階にあるファインアーツギャラリーに隣接したスタジオは、多くの滞在客が立ち止まり、ウィンドウ越しにアート制作を見学できる稀有な機会を提供している。



ベラージオ ラスベガス

3600 S Las Vegas Blvd Las Vegas, NV 89109 ☎888-987-6667 全3933室
 アクセス: マッカラン国際空港からクルマで約10分。 www.bellagio.com

ベラージオ・ギャラリー・オブ・ファインアーツ 『オペラテレーション・オブ・エタニティ』『ナシサス・ガーデン』

☎888-488-7111 10時~20時 無休 料一般15ドル ※開催中~4/28
 www.mgmresorts.com/en/entertainment/bellagio/gallery-of-fine-art.html

般公開する機会を設けた。スタジオは一面が大廊下に面したガラス張りだ。訪問客は、向山が舞うように全身で刷毛を動かしながら色を塗り重ねる姿をウィンドウ越しに見学できる。「創作する姿が作品に反映されると信じている」と言う彼は、MGMのホテルに半年間滞在し、ラスベガスの日常と非日常を五感で体感しながら、そこで感じたことを作品に表現している。向山が制作しているのは1m四方の正方形24枚のキャンバスからなる、真言密教六代の四季折々を表現した絵画。高野山で育ち、仏教文化に親しんだ向山が常にモチーフとしてきたのは魂、祈りといった、人に内在する光。その対極ともいえるラスベガスの眩い光や色を体感し、ふたつの要素をキャンバスに展開させている。

そんな彼の姿勢を、ムーレンはこう語る。「彼はスピリチュアルなアーティストで、作品には深い祈りや魂が込められている。全身全霊を込めて作品を生み出す姿をお客様に見ていただくことで、ラスベガスで日本の美や静謐を体験することができるのです」

この取り組みは、今後も日本人の若手芸術家を対象に継続するという。さらに日本でも芸術を支援し、規模を問わず芸術家や建築家とコラボレーションを重ねていく予定だ。

エンターテインメントや経済活動では、芸術が中心となることで、美や夢がより広がっているのではないかと言う向山。「日本でもこのようなリゾートが実現し、社会にもっとアートがうまく溶け込んでいけば、大きなグルーヴになるのではないかと期待しています」

●日本MGMリゾート www.mgmresorts.co.jp